



# 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月7日

上場会社名 遠州トラック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9057 URL <https://www.enshu-truck.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金原 秀樹  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 孝之 TEL 0538-42-1111  
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月9日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	24,161	4.6	1,480	21.8	1,477	19.9	1,050	23.8
2024年3月期中間期	23,095	4.7	1,216	19.2	1,231	19.6	848	2.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,045百万円 (19.8%) 2024年3月期中間期 872百万円 ( 5.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	140.61	
2024年3月期中間期	113.66	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	39,160	22,238	56.8
2024年3月期	39,304	21,536	54.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 22,238百万円 2024年3月期 21,536百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		47.00		47.00	94.00
2025年3月期(予想)		47.00		47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	6.5	3,100	18.5	3,100	15.7	2,100	2.6	281.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	7,546,000 株	2024年3月期	7,546,000 株
2025年3月期中間期	75,309 株	2024年3月期	78,147 株
2025年3月期中間期	7,468,982 株	2024年3月期中間期	7,465,869 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まりなどにより企業の経済活動は緩やかに回復してきている一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替の急激な変動、地政学的リスクの高まりなどから先行きの不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、燃料費の高止まりや乗務員の時間外労働の上限規制の強化などにより、従前どおりの運行が難しくなるなど、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、インターネット通販向け輸送業務が伸長し、2023年10月に竣工した袋井市の大型倉庫が本格稼働したことなどから、当中間連結会計期間の営業収益(売上高)は241億61百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

利益面におきましては、人件費、外注費、減価償却費等が増加したものの、運行効率の改善に努め、価格転嫁が徐々に進み始めたことなどから、営業利益は14億80百万円(前年同期比21.8%増)、経常利益は14億77百万円(前年同期比19.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は10億50百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

セグメント別の営業収益の状況は次のとおりです。

物流事業の営業収益は240億90百万円(前年同期比4.9%増)となりました。その内訳は、輸送部門が179億42百万円(前年同期比5.4%増)、倉庫部門が61億48百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

その他(不動産事業等)は70百万円(前年同期比48.7%減)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は119億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加しました。これは主に受取手形及び営業未収入金が2億39百万円、その他に含めて表示している未収消費税等が1億74百万円減少したものの、現金及び預金が6億65百万円増加したことによるものであります。固定資産は271億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億40百万円減少しました。これは主に無形固定資産が1億40百万円増加したものの、有形固定資産が4億35百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、391億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少しました。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は80億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億71百万円増加しました。これは主に支払手形及び営業未払金が3億52百万円、その他に含めて表示している未払金が1億74百万円、設備関係電子記録債務が1億18百万円減少したものの、その他に含めて表示している未払消費税等が4億28百万円、未払法人税等が3億23百万円、賞与引当金が1億26百万円増加したことによるものであります。固定負債は88億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億17百万円減少しました。これは主に長期借入金が11億60百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、169億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億45百万円減少しました。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は222億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益10億50百万円及び剰余金の配当3億50百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.8%(前連結会計年度末は54.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は64億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億65百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は24億96百万円(前年同期比10億2百万円増)となりました。主な増加は、税金等調整前中間純利益15億19百万円、減価償却費5億66百万円、未払消費税等の増加額4億28百万円、売上債権の減少額3億12百万円、固定資産圧縮損2億62百万円、未収消費税等の減少額1億74百万円であり、主な減少は、仕入債務の減少額3億81百万円、補助金収入3億8百万円、法人税等の支払額1億56百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は3億60百万円(前年同期比30億92百万円減)となりました。これは主に補助金の受取額3億8百万円による収入に対し、無形固定資産の取得による支出4億36百万円、有形固定資産の取得による支出2億68百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は14億70百万円(前年同期は38億58百万円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の返済支出6億5百万円、短期借入金の純減少額4億95百万円、配当金の支払額3億50百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,756	6,422
受取手形及び営業未収入金	5,208	4,968
電子記録債権	256	183
販売用不動産	19	25
その他	525	362
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,765	11,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,699	10,220
機械装置及び運搬具(純額)	396	407
土地	12,874	12,871
リース資産(純額)	241	218
建設仮勘定	21	54
その他(純額)	201	226
有形固定資産合計	24,434	23,998
無形固定資産	938	1,078
投資その他の資産		
投資有価証券	397	391
繰延税金資産	352	354
その他	1,416	1,376
投資その他の資産合計	2,166	2,121
固定資産合計	27,539	27,199
資産合計	39,304	39,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,421	3,068
電子記録債務	400	371
短期借入金	2,088	2,147
未払法人税等	198	521
賞与引当金	271	398
設備関係電子記録債務	332	214
その他	1,000	1,362
流動負債合計	7,713	8,085
固定負債		
長期借入金	9,006	7,846
退職給付に係る負債	659	667
資産除去債務	90	90
その他	299	232
固定負債合計	10,055	8,837
負債合計	17,768	16,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,098	1,104
利益剰余金	19,040	19,739
自己株式	△55	△53
株主資本合計	21,368	22,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	160
退職給付に係る調整累計額	1	2
その他の包括利益累計額合計	167	162
純資産合計	21,536	22,238
負債純資産合計	39,304	39,160

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	23,095	24,161
営業原価	21,267	22,054
営業総利益	1,827	2,106
販売費及び一般管理費	611	625
営業利益	1,216	1,480
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
補助金収入	2	2
受取保険金	21	0
保険配当金	1	13
違約金収入	—	1
保険解約返戻金	18	—
その他	7	11
営業外収益合計	55	35
営業外費用		
支払利息	37	37
その他	2	2
営業外費用合計	40	39
経常利益	1,231	1,477
特別利益		
固定資産売却益	3	4
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	—	308
特別利益合計	4	312
特別損失		
固定資産除却損	21	8
固定資産圧縮損	—	262
特別損失合計	21	270
税金等調整前中間純利益	1,214	1,519
法人税等	365	469
中間純利益	848	1,050
親会社株主に帰属する中間純利益	848	1,050



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	848	1,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	△5
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	23	△4
中間包括利益	872	1,045
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	872	1,045

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,214	1,519
減価償却費	412	566
支払利息	37	37
固定資産圧縮損	—	262
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△4
有形固定資産除却損	21	6
補助金収入	—	△308
売上債権の増減額(△は増加)	△209	312
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	174
仕入債務の増減額(△は減少)	206	△381
未払消費税等の増減額(△は減少)	120	428
その他	209	69
小計	2,009	2,682
利息及び配当金の受取額	4	6
利息の支払額	△39	△35
法人税等の支払額	△479	△156
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,494	2,496
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,415	△268
有形固定資産の売却による収入	3	5
無形固定資産の取得による支出	△81	△436
保険積立金の解約による収入	55	—
補助金の受取額	—	308
その他	△14	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,452	△360
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	165	△495
長期借入れによる収入	4,600	—
長期借入金の返済による支出	△536	△605
配当金の支払額	△350	△350
その他	△18	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,858	△1,470
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,900	665
現金及び現金同等物の期首残高	5,396	5,756
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,296	6,422

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)  
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額 (注3)
	物流事業				
営業収益					
外部顧客への営業収益	22,958	136	23,095	—	23,095
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,958	136	23,095	—	23,095
セグメント利益	1,671	62	1,733	△517	1,216

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△517百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△517百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)  
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額 (注3)
	物流事業				
営業収益					
外部顧客への営業収益	24,090	70	24,161	—	24,161
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,090	70	24,161	—	24,161
セグメント利益	1,973	36	2,009	△528	1,480

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△528百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。